

編集のことば

山ノ内町文化財保護審議委員

齋藤 武雄

編集の仕事をお引受けしましてから、関係者の方々と共に該当石造文化財のほとんどについて、一年間を現場に行き個々に当たって調査してまわりました。

これにつきましては、町の教育委員会の当事者の方と、各地区の調査者・協力者の方々に、数年前からの準備調査と併せてその並ならぬご尽力、ご協力を深謝する次第であります。

とくに地区の関係の皆さんには、どんな山の中でも先導し、雑木雑草の茂った所ではこれを取り除いて、観察しやすく撮影しやすくしてくださいました。雨の激しく降る日もあり、寒い日もありましたが、面倒がらずに一鉢一鉢の石造物を、落ちなく案内してくださいましたことは、並大抵では出来るものではないと、その熱意に頭が下がりました。

また、このまとめにつきましては、当石造文化財調査の大目標の一つである、なるべく地域の特性がわかるようにとの趣旨から、悉皆調査に近づくようにしたり、より以上に文化・歴史・信仰・生活に結びついたものとしてまとめることに努力しました。その点から関係者の皆さんには、ご多忙の中を何回もお寄り願ってご意見をお聞きしましたが、これも余計にご足労をおかけしたことを思います。

当町は、古くから人情の豊かな所であり、重要な交通路が発達し、観光・湯治などの自然に恵まれたと

ところで、文化人が早くから来訪していました。そして、深山を有するところから、信仰の対象として重んぜられた所も多く、修験道の活動が盛んでありました。以上のことは、千点以上の多くの石造文化財として残された理由とも係わり、また石神石仏の種別五十種類の豊富さの現象にも表れています。

これらの整理の段階では、石造文化財の個々についての定説がないこと、例えば、塔・碑・祠の区別がはっきりしないなどや、研究不足、時日の問題などから、表現上正確さを欠くところもありましたが、今後の追究にご依頼いたしたいと思います。

とにかく、これだけの貴重な文化財の中には、山陰に倒れていたり、道端に破損していたり、あちこちにばらばらになっている五輪塔などを見た時、建立当時の篤い誠意で地域の安泰を願った人々に応える方策を世界の山ノ内町で一步でも前進させるようお願いしたいと思います。